

保存会の設立35周年も記念して

菖蒲太鼓初響き会

菖蒲太鼓保存会(伊藤福章会長)が主催する「菖蒲太鼓初響き会」が1月24日に美郷町公民館で開催されました。

同会の設立35周年にあたる令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響で太鼓活動が制限された一年でした。そのため、今回の初響き会には「菖蒲太鼓35周年記念公演」という意味も込められており、小学生から大人までの会員たちが衣装を身に付け、迫力ある太鼓の演奏を披露しました。



交流展示スペースを見学

タイ王国ノンタブリー県出身留学生が美郷中学校を訪問

県内の高校に留学しているタイ王国ノンタブリー県出身のドリームさんが、1月28日に美郷中学校を訪問しました。美郷中学校は、町と同県第一地区初等教育局が締結している「教育交流協定」に基づく国際交流を行っており、今回の訪問はその縁もあって実現しました。

当日は校内にある「ノンタブリー交流展示スペース」を見学したほか、松田町長らとの懇談も行われました。



客室乗務員の経験を生かす

JALふるさとアンバサダーが来町

町と連携協力協定を締結している日本航空株式会社の「ふるさとアンバサダー」に就任した高瀬雅子さんと五十嵐咲さんが1月26日に来町しました。

各地方に配置された「ふるさとアンバサダー」は、それぞれの場所で地域の魅力発信などを手掛けることになっており、お二人は東北6県と新潟県を担当します。客室乗務員として勤務されていた経験を生かしながら、地域活性化に向けた取り組みが今後行われていく予定です。



MISATOPICS

町の話



小正月行事に合わせて

六郷わくわく園の餅つき

ことしも町内の各認定こども園で餅つきが行われました。このうち、六郷わくわく園では「六郷のカマクラ」の開催時期に合わせ、毎年2月に餅つきが行われています。

餅つき当日の2月10日には、5歳児の園児たちが力を合わせながら餅をつきました。その後、ついた餅には「きなこ」がまぶされ、愛情弁当と一緒にきなこ餅をおいしそうに頬張る園児たちの様子が見られました。



ことしはリモート形式で！

仙南小学校と千駄木小学校(東京都)の学校間交流

毎年行われている仙南小学校と東京都文京区立千駄木小学校の学校間交流が、1月29日にリモート形式で行われました。

例年であればそれぞれの学校を訪問しての交流が行われていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度はその機会が失われていました。そんな中、千駄木小学校側からリモート形式での交流が呼び掛けられ、今回の交流が実現しました。当日は5年生の児童たちが、それぞれのご当地クイズを出し合ったり、王様ジャンケンなどをして、交流を深めました。



たくさんの願いが届きますように

六郷のカマクラ「天筆焼き」

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、ことしの「六郷のカマクラ」の竹うちや観光関連行事は中止となりましたが、左義長の火で天筆を焼いて神様に願いを届ける「天筆焼き」は2月15日の夜に開催されました。あいにくの雨模様でしたが、子どもたちの元気な声に後押しされ、さまざまな願いごとを乗せた天筆が炎とともに高く舞い上がりました。フィナーレには協賛花火も打ち上げられ、冬の夜空を彩りました。

